

# 市長から市民のみなさんへ

96

市長白平博文

## 国保加入のみなさんへのお願い

本市の国民健康保険（国保）の加入者は約1万6千人です。かねてより1人当たりの医療費が県下でトップクラスと高く、ここ数年、単年度で赤字を出し続けていましたが、基金（国保会計の黒字をその都度積み立てていたもの）の取り崩しで凌いできました。しかし、平成20年度で基金も枯渇したため、平成21年度は、何とか単年度で赤字が出ないようにみなさんの保険料を増額せざるを得なくなり、過日、国保加入のみなさんに今年度の保険料をお知らせしたところでした。これで保険料は県下で3番目の高さとなりました。もっとも急な引き上げであったため、加入者からの苦情や、「激変緩和」を求める市議会の議決を受け、1人当たり一律3,600円（年額）を平成21年度に限って減額することにしました。このように国保会計は、目下、苦境に立たされています。そこで、国保加入のみなさんに二つのお願いがあります。

まず、ひとつの病気では、病院（医院、診療所）を変えないで、完治までかかりつけの主治医に任せ

てほしいことです。病院を変えるとその都度初診料がかかりますし、同じような薬が出ます。飲み残して捨てている薬も、全市的にはかなりあることが想像されますが、これも医療費の一部です。

もう一つは、病院で「後発医薬品（ジェネリック医薬品）をお願いします。」と一言注文を付けてほしいのです。特許権の切れた薬は、新薬（先発医薬品）と較べ非常に安価です。品質・有効性・安全性についても、国の審査をパスしたものです。10月には国保加入のみなさんのお手元に、担当課から「ジェネリック医薬品希望カード」をお届けする予定ですが、これを保険証と一緒に病院の窓口に出していたければ、言葉による注文は不要です。

この2点について、国保加入のみなさんのご協力がいただければ、みなさんの医療費も安くなりますし、国保会計もうんと負担を軽減することができます。国保会計が好転すれば、みなさんの翌年度の保険料も減額の方向で見直すことができます。

以上の二つのお願いについて、どうぞよろしくお願いします。

## 山陽小野田市まるごと写真館

あなたの写真を市のホームページに載せてみませんか

山陽小野田市では、市の魅力を内外に発信するため、市民のみなさんからの写真を募集します。

- 写真のテーマ 市内のイベント、伝統行事、四季折々の風景、名所・史跡など。
- 利用方法 市ホームページに掲載するほか広報紙等の市の印刷物に利用することがあります。
- 応募条件 ①応募者本人が撮影し未発表のものとしします。②写真はデジタルデータで、容量2メガバイト以内としします。③著作権は撮影者に帰属しますが、使用权は5年間を限度に市に帰属します。④使用权は無償としします。このほか詳細は、市ホームページでご確認ください。
- 応募要領 広報広聴課に備え付けの応募用紙に記入のうえ、写真のデータを添えて応募してください。E-mailでも応募できます。（応募用紙は市ホームページからもダウンロードできます。）
- 応募先 広報広聴課（☎82-1133）E-mail:ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp

### 広報活動 アンケート を行います

広報活動に関して市民のみなさんのご意見・ご要望を伺い、今後の広報活動の参考とすることを目的にアンケート調査を行います。この調査は住民基本台帳の中から1,200人を無作為に抽出して行うもので、8月末にアンケート調査票を郵送します。なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。